

点描写 一立体図形①一

◆◆◆どうして点描写をするの?◆◆◆

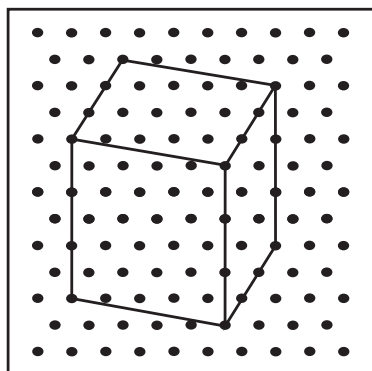
すでに能力育成問題集 点描写①～④で説明しておりますが、点描写の問題がIQテストや小学校入試によく出題される理由として、点描写をすることによって「注意力」「集中力」「持続力」といった基礎能力と「構成把握能力」「作業能力」「筆圧」「指先の調整能力」などの知能因子のチェックを一度に行うことができるからです。また、図形関連の能力にも深い関係があるようです。ある小学校5年生の子供が、算数の学習で図形の範囲になると、極度に成績が落ちる子がいましたが、その子に点描写をさせてみると、正確に描き写せないので。特に、斜めの線をとらえることが難しかったようです。その後、毎日2問を2週間続けることで、少しは空間(図形)把握能力・全体注意力を獲得できたのか、図形問題の成績も向上し、さらに見取図がかけたり、作図ができるようになりました。

小学校で図形を学習するとき、三角形や四角形の名前や性質、面積や体積といった知識や問題の解法が中心になっていますが、本来の目的は空間(図形)概念の養成のためです。この概念を感覚的に養うには、幼児期から図形遊びや点描写をすることが重要だと言えます。この領域問題集の点描写一立体図形①一では上級編として、立体図形の基礎を育成し、3次元空間把握・関係把握の概念の養成ができます。単に点と点を線で描く模写作業では、本書の立体図形もお子さんにとっては、いままでの2次元の点図形と変わりはないのです。実際の立体を平面に描いていることを意識し、描いた図形が実際どのような立体であるかをイメージすることが大切であり、感覚的に3次元空間を理解するのが目的です。

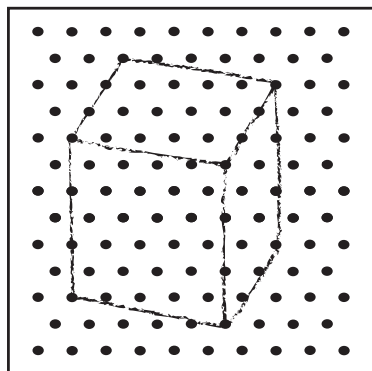
◆◆◆指導上のポイント◆◆◆

ここでは、基礎的な点描写の模写の仕方(能力育成問題集 点描写①～④参照)は省き、立体図形の練習法を述べます。

- * 模写した立体図形を実際の積木やPITAGORAシリーズの知育玩具「カモンカパズル」または日常生活品などで示すことをおすすめします。
- * 逆に、対象になる物を見つけて、図形を描いてみましょう。
- * また、イメージに浮かんだ物、図形を自由に描くのも効果的です。



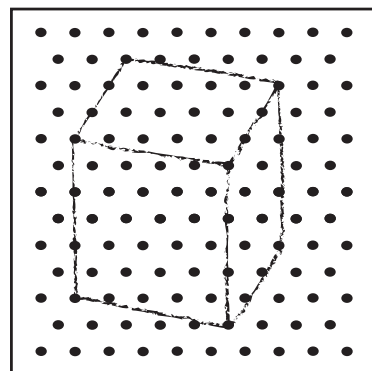
写す
⇒



示す
⇒

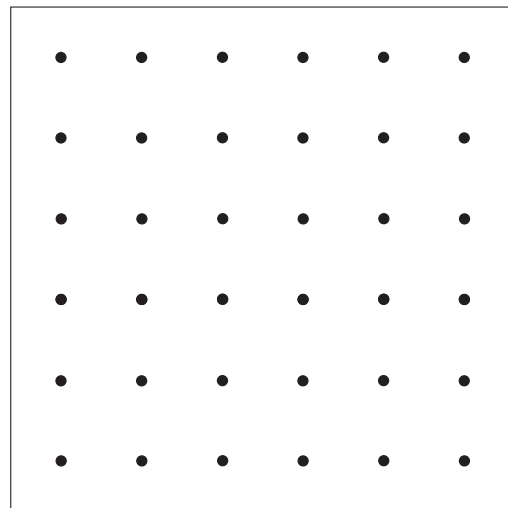
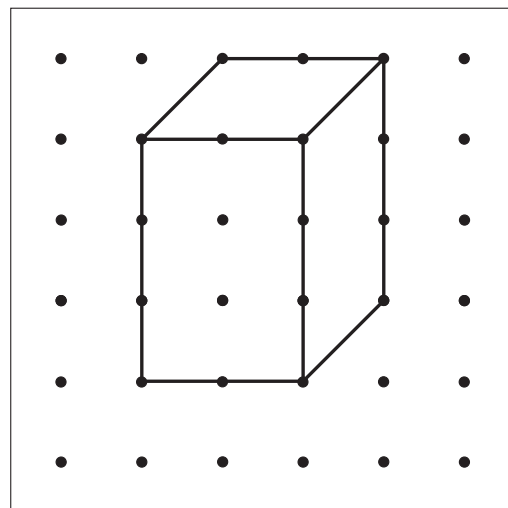
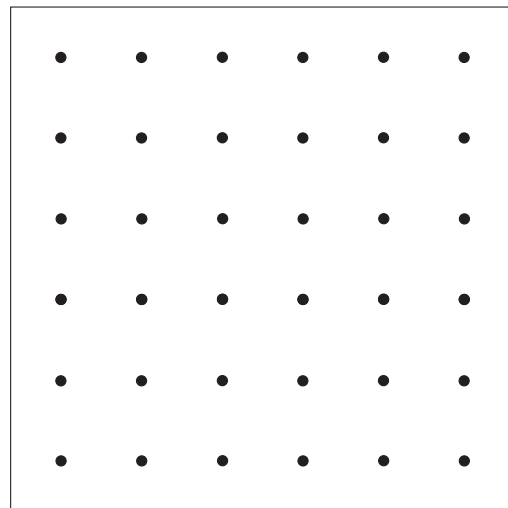
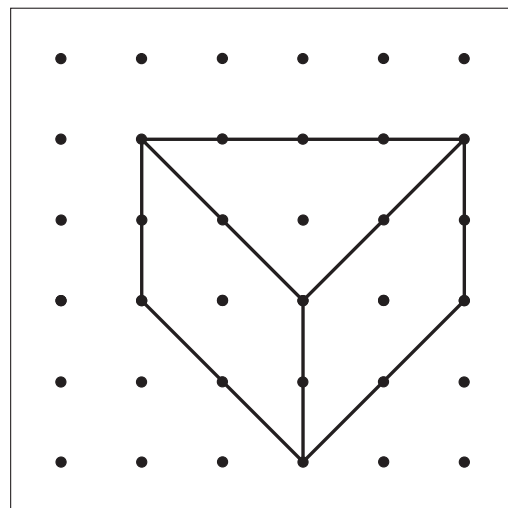
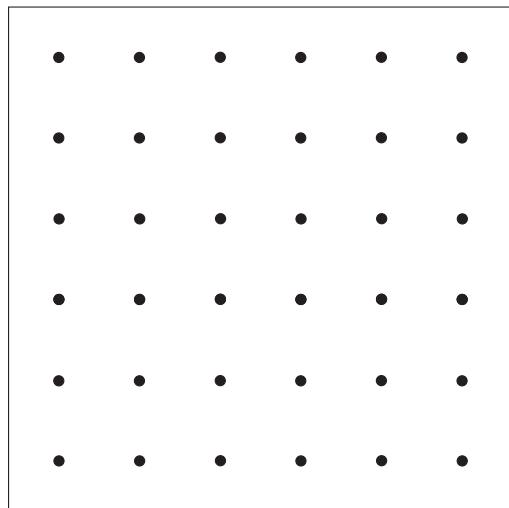
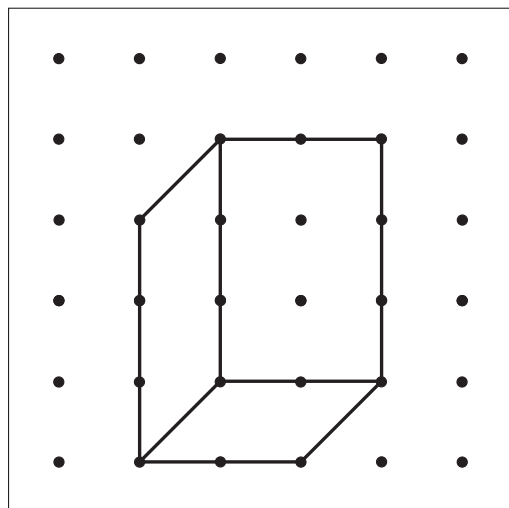


描く
⇒



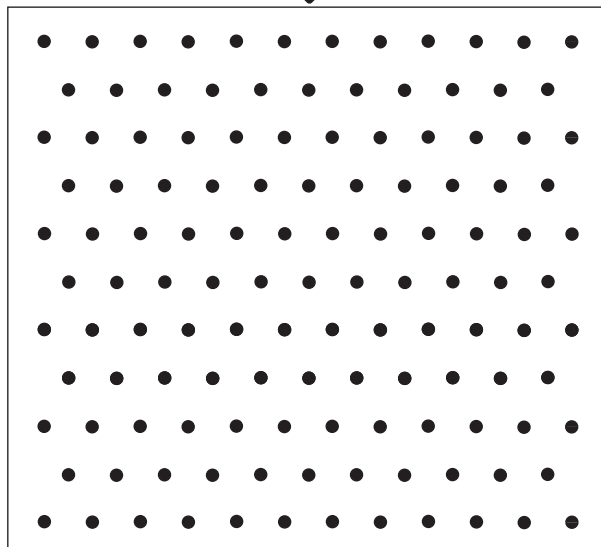
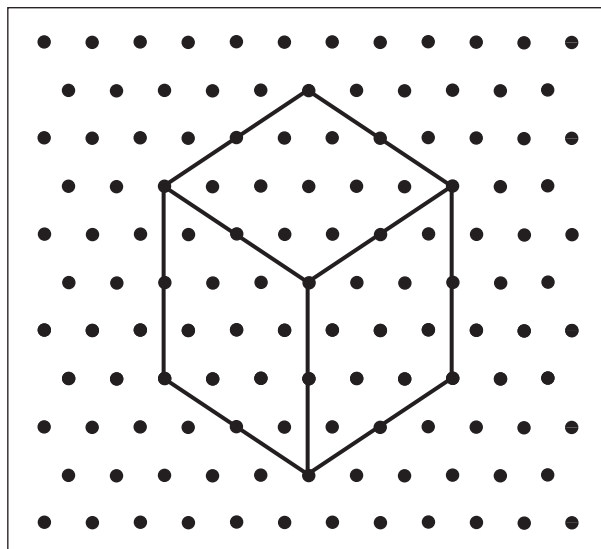
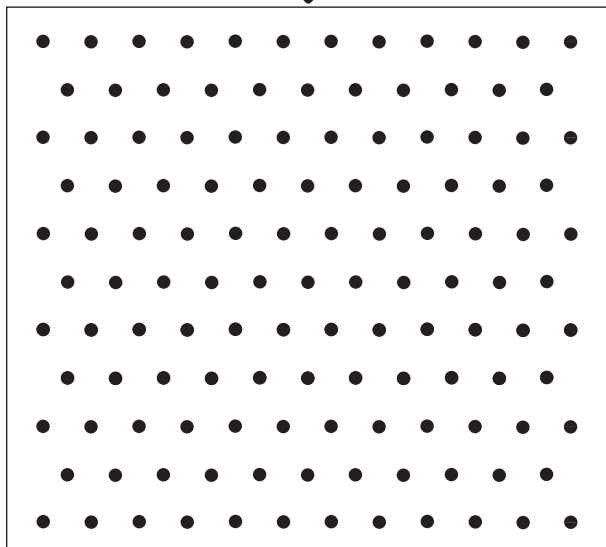
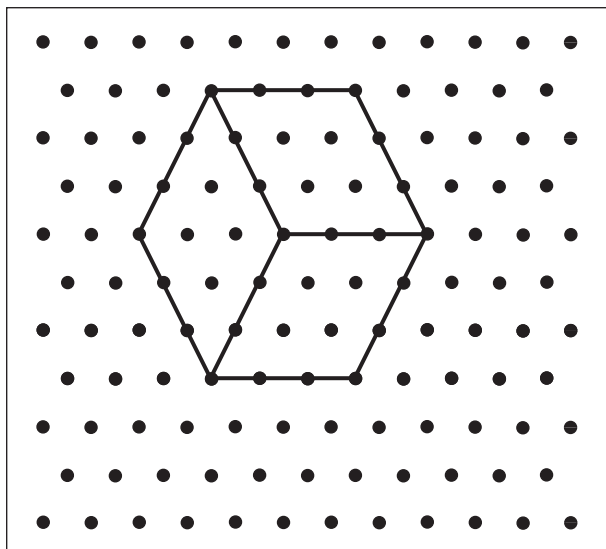
点描写 立体図形①

点をつないで、お手本どおりの図を作りましょう。



点描写 立体図形①

点をつないで、お手本どおりの図を作りましょう。



点をつないで、お手本どおりの図を作りましょう。

